

は し が き

NIEという言葉をご存知でしょうか。NIEとは、Newspaper in Educationの略です。アルファベットの音通り エヌ・アイ・イー と読みます。教育機関（学校）で新聞を教材として活用することを意味します。日本でも多くの小・中・高等学校で実践されているほか、近年では大学・短期大学・専門学校でも広がりを見せています。

皆さんは新聞にどのような印象を持っていますか。新聞は難しいものと思っている人もいるかもしれません。若者の新聞離れが指摘されて久しいです。しかし、新聞の紙面には政治・経済だけではなく社会や文化、科学やエンターテインメントまであらゆる分野の記事が載っています。とても読みごたえのある楽しいものです。新聞をこれまであまり読んだことのない人は、新聞の形式に慣れることが第一歩です。新聞がどのような構成になっているのかをつかみ、実際の新聞記事を使って学びましょう。

本書は、読者の皆さんに、読む力とともに書く力をつけていただきたいという願いから企画しました。一般の子ども家庭福祉の教科書とはややタイプが異なります。新聞を活用したワークブック、その中でも子ども家庭福祉のワークブック教材は私たちが以前刊行した『NIE 児童家庭福祉演習』以外にはあまり見当たらないようです。私たちはこれまで『社会福祉記事ワークブック』『NIE 児童家庭福祉演習』『NIE 家庭支援論演習』『NIE 介護の基本演習』『NIE 社会的養護Ⅰ・Ⅱ演習』『NIE 社会福祉演習』を作りました。このワークブックはその第7弾です。以前刊行しました『NIE 児童家庭福祉演習』の構成・内容を見直し、新しい内容も取り入れました。新聞記事を読み、言葉を調べ、感想を書き、解説で学びを深めるという一連の流れをとっています。子ども家庭福祉に関連する言葉や制度を調べたり記事を読んだ感想を書くなど、自身で課題に取り組みましょう。

社会福祉士・保育士などの国家資格を取得するときは、実習日誌の記入等多くの場面で文を記入します。無事に資格を取得して仕事に就いた後も、ケース記録や連絡帳等で文章を書くことがたくさんあります。実習や仕事のほかにも、文章を読み解き、まとめ、自分の力で発信する力は社会のいろいろな場面において必要とされます。

今も子ども家庭福祉は大きな変化が続いています。最近でも、「児童福祉法等の一部を改正する法律」が2022（令和4）年6月8日に成立し、2024（令和6）年4月1日に施行することとされています。このワークブックで学び終えた後もいつも新聞記事に関心を持ち、新しい子ども家庭福祉の知識を得るべく、勉強を続けてもらえることを願っています。

各章はそれぞれの分野の専門の先生が、わかりやすく丁寧に展開しています。難しい言葉も段々と理解できるでしょう。みなさん、あせらず確実に取り組んでいきましょう。

大学教育出版の佐藤社長、編集の社さん、岡山シティエフエム社長（前・山陽新聞社読者局長）の太田氏にいろいろとお世話になりました。この紙面を借りて感謝申し上げます。

2024（令和6）年4月

松井圭三・今井慶宗

このワークブックの利用方法（使い方）

このワークブックは概ね ①新聞記事 ②調べてみましょう ③記事を読んだ感想をまとめてみましょう ④解説 という構成になっています。

皆さんが教室で先生から指導を受けながら学ばれることもあるでしょう。自学自習される方もあるかもしれません。使い方はもちろん自由です。

ここでは、次のような利用方法で学習されると取り組みやすいのではないかと私たち編著者が考えたものをお示しします。ぜひ参考にしてみてください。

- 1 新聞記事をよく読みましょう。難しい言葉・知らない単語はそこに線を引っ張っておくとよいでしょう。新聞記事の読み方にも慣れましょう。
- 2 設問に沿って、言葉を調べたり、考えてみましょう。調べたり、考えたりする言葉等はいくつかあります。教科書や辞典・インターネットでも調べましょう。言葉同士の関連性にも注意しましょう。
- 3 記事を読んだ感想を書きましょう。記事を読んだ素直な気持ち、自分ならばどう取り組むか、考えたことなどを自由に書きましょう。
- 4 解説では、新聞記事の内容や関連することについてそれぞれの分野の専門の先生が分かりやすく説明しています。よく読んで理解しましょう。自分で調べてよく分からなかった言葉等は、ここで学んで書き足しましょう。

また、皆さん自身が各章に関連する新聞記事を見つけて切り抜き、貼り付ける欄も用意しました。自身で設問を3つ程度つくり、調べて記入してみましょう。

どの章から始めても構いません。知っている分野があれば取り組みやすいでしょう。自分が気になる記事があればぜひそこから読んでみて下さい。手も動かしてしっかり書き込みましょう。

目 次

はしがき	i
このワークブックの利用方法（使い方）	ii
第 1 章 NIE と子ども家庭福祉	1
第 2 章 少子高齢化と子ども家庭福祉	10
第 3 章 子ども家庭福祉の歴史	21
第 4 章 子ども家庭福祉の法律	29
第 5 章 子どもと保育	38
第 6 章 子ども家庭福祉の機関	47
第 7 章 子ども家庭福祉の施設	55
第 8 章 ひとり親家庭と児童	62
第 9 章 子育て支援	71
第 10 章 児童虐待	80
第 11 章 子どもの健全育成	88
第 12 章 障害のある子ども	95
第 13 章 子どもと非行	103
第 14 章 子どもを取り巻く専門職	111